

「色の立方体」

デザイン学科 木住野彰悟 Shogo Kishino



紙の専門商社竹尾の青山見本帖での展示作品です。

見本帖ではデザイナーが月替わりで作品の展示を行っており、毎回楽しく観てたので今回自分も参加することが出来、大変嬉しく思いました。

この作品は見ての通り、盆栽をモザイクで立体的に制作した作品です。

素材は本学で私の研究室に所属している学生達に制作の手伝いをしてもらい、竹尾のファインペーパーを用いて、色の構成で盆栽を表現しました。

ここに展示出来たのは全作品の一部になるため、実際は何千個という立方体の箱を手作業で制作しており、作業量は膨大でした。モザイク表現は、数年にわたり自分の作品のモチーフとしてきましたが、本格的に立体の作品を作成したのは今回が初めてでした。モザイクの平面とは違い、モザイクの立体が現実世界に存在している不思議さは、完成した作品を並べ自分的にもとても興味深い表現だと感じ、今後もつきつめていきたいと思っています。



東京生まれ、廣村デザイン事務所で廣村正彰氏に師事、2007年に6D設立。
 企業や商品のブランディングを中心に、ロゴ、パッケージ、サイン計画など多岐に渡り活動。
 主な仕事に、JAL「STEAM SCHOOL」AD、麒麟「Home Tap」AD、小田急線「路線図」デザイン、新宿新南口「NEWoMan」サイン計画など。
 主な受賞に、カンヌ、D&AD、one show、アジアデザイン賞、サインデザイン賞、ADC賞、JAGDA賞 他国内外多数。2016年D&ADデザイン部門審査員、2017年グッドデザイン賞審査員。



青山見本帖での展示



盆栽



だるま